

さんぽみち

第31号

発行 岡山協立病院緩和ケア病棟
文責 桑原和美(病棟病長)
発行日 2018.7.26
岡山市中区赤坂本町8-10



あじさい音楽会

6月5日に毎年恒例のあじさい音楽会が行われました。今年は今まで以上にあじさいの花がたくさん飾られ、とてもきれいでした。今年はシンガーソングライターの方をお招きして、ギターを演奏しながらの生歌に感動しました。知っている歌があると一緒に口ずさんだりして、楽しく過ごすことができました。患者さんにとっても、病気を忘れ心地よいひとときが過ごせました。



本年は殊の外、暑い日が続いております。また、この度の西日本豪雨に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、この度の西日本豪雨に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。さて、今年も毎年恒例の音楽会、七夕会等、皆さん、楽しいひとときを過ごしました。こまめな水分補給を心がけて、酷暑を乗り切りましょう。

職員紹介 石井 瞳

(看護師)



6月から外来より異動になりました。よろしくお願ひします。患者さんにとってホッと安心できる存在になりたいと思っています。日常のちょっとしたことでも気軽に声をかけてください。

趣味はロックやパンクのライブに行くことでしたが子供が産まれてからはなかなか行くことができないので自宅の庭でガーデニングをしています。最近、ブルーベリーと姫リンゴを植えたので来年おいしい果実を収穫することを楽しみにしています。



七夕会



7月5日に七夕会が開催されました。「七夕」「夏は来ぬ」など夏の歌をみんなで歌うのはもちろん、今年は東京音頭を上半身だけの振り付きで楽しく歌って踊りました。



紙芝居「たんざくにおねがいかいて」では、語り手のボランティアさんの迫力のある読み方に、紙芝居の世界に引き込まれていきました。お茶のサービスでは、涼しげな水ようかんで、普段食欲のない患者さんもぺろりと食べることができました。



病棟ニュース



看護活動の紹介 褥瘡対策

褥瘡とは、一般的に床ずれとも呼ばれています。緩和ケア病棟の患者さんによっては、やせたりむくみが出たりすることで、活動が制限される方も少なくありません。そのため褥瘡発生のリスクが高く、褥瘡の予防がとても重要です。時間ごとに体位変換を行い、寝衣やシーツのしわを伸ばし、毎日褥瘡ができやすい部分の皮膚の観察をしています。また、リハビリのスタッフと適正な体位を話し合い、予防に努めています。褥瘡発生した際は、早期に皮膚科受診をし、早めの対応を心がけています。患者さんが安楽で穏やかに過ごせるよう、努力していきたいと思えます。（楽前）



ちょっと よりみち



みなさん、大相撲は好きですか？一度は両国国技館で観てみたい、どうせ観るならたまり席（砂かぶり席）で！と、ダメもとでチケット抽選に挑みました。たまり席は500席ありますが一般販売は200席と狭き門。結果、見事に当選し5月に観戦してきました。もちろんランチはちゃんこ鍋、道路沿いののぼりと国技館を前にして気分上昇。お相撲さんも普通に歩いています。中に入り前から6列目、いざ席に通されると土俵が近い！！終始興奮のうち、あっという間に最後の取り組みまで終わりました。外に出るとちょうど栃ノ心（7月大関に昇進しましたね）が歩いて相撲部屋に帰っているところで、ミーハーな私はかけ寄って腕をポンポンと触り大満足でした。後日、録画チェックするところどころで小さく映っていてそれもまた大興奮でした。（福尾）

最近、久しぶりに卓球をしてすごく楽しかったので皆さんにもお勧めしたいです。

ちなみに私は卓球部でもなく、体育で少しした程度です。でもいろいろな運動もしてきて運動神経にはそれなりに自信があります！

負けず嫌いの女が昔ながらの卓球場で、本気で卓球をする・・・なんてシュールなんでしょう。人の目など気にしない、勝負はいつでも真剣です。昔培ったスポーツ根性が蘇りました。私がジャンピングスマッシュを決めたときの、相手の顔が今も忘れられません。

（デートの時はおすすめしません）

看護師は心身ともに健康第一！適度な運動も大切だと感じ、定期的にしようと思いました。（佐藤副主任）



私は時々、家までの道を1時間かけて歩いて帰ります。歩きながら考えた事を書いてみます。緩和ケア病棟では、患者さんや家族、そして医療スタッフの日々の気持ちはどんなものだろうか。患者さんは病気が悪くなったのは自分が悪いと自らを責めているかもしれない。家族は自分達がみてあげなかつたのが悪かったと後悔しているかもしれない。医療スタッフは、自分達のケアが良くないから病気がどんどん悪くなっているかと思ってしまうかもしれない。でも、決して病気は誰のせいでもありません。お互いが自分を責めることはありません。大切なことは、患者さんと家族が最期の大切な時間をどう過ごすか。そのために私は、患者さんを医療スタッフの親だと思いたい、医療知識とコミュニケーションで苦しみを和らげていこうと思うのです。（医師 武田 明）

緩和ケア病棟に入院を希望される方がおられたら

まずは病棟の直通電話か相談室へご連絡ください。
担当者がいない場合は、折り返し連絡をさせていただきます。

- ①看護師がお話を伺い、緩和ケア外来（毎週火・金の午後、水・金の午前）を予約します。
4月から木曜日の午前も外来を行います。
- ②外来受診までに、現在かかりつけの病院で紹介状を書いてもらい、FAXしていただきます。
外来受診時に、病棟の見学もしていただけます。

病棟直通電話：086（899）6006

遠慮なくご相談下さい。

「虹の会」のお知らせ



緩和ケア病棟へ入院された患者様のご遺族の会です。

次回開催：9月8日（土）
開始時間：10:30～12:00
場所：コムコム2階休憩室